TAKE FREE



皆さんと共有(share)するために制作しました。ぜひ、ご覧ください。 ウェブとは一味違う、手元でじっくり楽しめる形で この「シェアマガ」は、そんな一期生が丹精込めて取材した守谷の魅力の数々を 写真や記事としてインスタグラムを中心に発信してきました。 守谷市の魅力を発信する市民PRチーム「もりやPR社」は、2024年9月に設立されました。 カメラや取材の専門講座でスキルを磨いた一期生が、同年11月から本格的なPR活動をスタート。 - 年間の任期を通じて、守谷で感じた「お気に入りの場所」や「新たな発見」を、







発信中!



### 表紙のお店

- ① BROAD BREAD
- ② 守谷おもちゃ病院
- ③ サロン・ド・カフェよしだ
- ④ やまこみそ
- ⑤ カレー堂えびす
- **® THE IMOMITSU** ⑦ 鶏肉専門店 泉屋
- ⑧ ミ・ナーデ親子クッキング
- ⑨ お菓子の店 メープル
- ⑩ 炙りや しゅん
- ⑪ クーロンヌ もりや ⑫ ViTOカフェ
- ⑬ 四季の里公園
- ⑭ こいのぼり(幸福の路)
- (5) Hairsalon Eternal
- ⑯ 森のテーブル ロルド
- @ cafe Hanamori

### ami's report



# ホッとくつろげるコーヒーのお店

Knot COFFEEは、自家焙煎の\*スペシャルティコービーの専門店です。「女性が1人でもお子様連れでもと一の専門店です。「女性が1人でもお子様連れでもと一の専門店です。「女性が1人でもお子様連れでもも、白を基調とした明るく開放的な空間。木製のテーむ、白を基調とした明るく開放的な空間。木製のテープルと椅子が並び、シンプルながらも温かみのあるカフェです。

ろげる空間で、おいしいひと時をいかがですか。の自家製ケーキやフードも魅力の1つ。ホッとくつの自家製ケーキやフードも魅力の1つ。ホッとくついただけるコーヒーは、すべて高品質のスこちらでいただけるコーヒーは、すべて高品質のス

### **Knot COFFEE**

守谷市百合ケ丘2-2767-1 ポルン101 [営業時間]火〜金曜日 10:30~17:30/土曜日・祝日 10:00~17:30 [定休日]日・月曜日

### mina's report

の詰まったお店です。 ご褒美にも、特別な贈り物にも。

験してみませんか?

る守谷の豊かな自然をあなたも体

四季の移ろいを感じることができ

アまで幅広い年齢層の方が参加

人気ナンバー1のレモンケーキは個包

やさしい甘さと繊細な味わいが魅力です。

素材と芸術品のようなケーキに表れています。ひと口ごとに広がる、

。ようなお店を」というオーナー・長谷川さんの想いが、選び抜かれた

まで、すべてが統一され、洗練されたデザイン。 グラフィックデザイ スタイリッシュな店内から美しいショッパーやギフトボックスに至る

ナーによるトータルブランディングが際立ちます。

また、「守谷にな

きめくひと時を届けてくれる、こだわり 味が広がるフランス伝統菓子で、忘れら スメの「ファーブルトン」は、プルーンの風 装で、ギフトにも最適。長谷川さんオス 心と





守谷の自然を歩いて体験

守谷で見つけたとっておきのスイーツ

2024年9月に誕生したパティスリー「N °102 ヌメロサンドゥ」。



### N°102 ヌメロサンドゥ

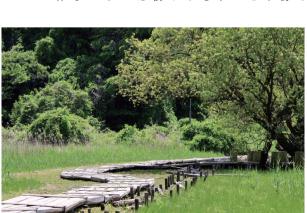
守谷市百合ケ丘2-4808-165 百合ヶ丘テラスA棟 [定休日]月・火曜日

photo:ami&mina

[営業時間]10:30~18:30

# ami's report

### 昆虫などの話も。 聞ける話は鳥だけではなく、植物や 見つけることもあります。 さるので、小さいお子さんからシニ 長先生、わかりやすく話をしてくだ ることができ、時には絶滅危惧種を まで移動し野鳥観察を楽しむこと 鳥のみちを歩いたり、他のスポット います。テーマに合わせて、守谷野 ど、毎月観察するテーマが決まって の声をきこう」「カワセミの観察」な 観察会は、 ができます。 できるイベントです。「ホトトギス んにより長年開催されている野鳥 毎回20種類以上の野鳥を観察す 小さな鳥の資料館・館長池田昇さ 守谷の豊かな自然を体験 池田さんは元校 観察会で











### 野鳥観察会

守谷野鳥のみち(本町) ほか [開催日時]毎月第4日曜日 9:00~12:00 ※参加には申し込みが必要です。



### Mai's report





### 顔はとても素敵でした。 当され、「私も学校で基本から勉強 さを感じます。一品料理は奥様が担 ぷらなどの料理が並び、どれも新鮮 ら育てた、大根やお野菜を使った天 打ちを基本から学んだご主人。自 椅子、花器などを眺めて味わうそば 茶も良い香り。開店にあたり、そば 店を参考に、そば店専門の建築士さ したんです」とのこと。お二人の笑 んに依頼しました。店内の照明や ンは、ご主人が長らく憧れだったお そば御膳は売切れになるほど人 守谷市で人気の「手打そば かさ 落ち着いた印象の店舗デザイ



の時は「ちょっと散歩して出直す

土・日曜日のみ営業ですが、満席

よ」と再訪されるお客さまもいるよ

使った鴨そばもオススメ。

せいろや、築地から仕入れた鴨を 気で、他にもサクッと揚げられた天



### 手打そば かさ川

守谷市板戸井2464 [営業時間]11:30~15:00(LO) [営業日]土・日曜日

photo:ami

おいしいおそば屋さん週末だけの

# 一歩を踏み出す勇気と出会い

夫の故郷である守谷に移り住んで15年。コンパクトながら生活に必要なものが揃い、何より豊かな自然に囲まれ四季の移ろいを感じることができるこの街は、私にとって住み心地の良い場所になりました。

そんな守谷の魅力を伝えたいと始めたもりやPR社の活動。1年間、飲食店やイベント、野



鳥のみちや公園など、街の様々な魅力を発信してきました。活動をとおして、想像以上に多くの新しい出会いや発見に恵まれました。この活動をしていたからこそ出会うことができた方々との縁が、私の毎日をより楽しく、豊かにしてくれました。一歩踏み出す勇気と人との出会いがもたらす力の大きさを改めて感じ、守谷にはたくさんの魅力的な人や場所があることを再認識しました。

この活動が、皆さまのささやかな発見につながっていれば幸いです。1年間応援してくださった皆さま、ありがとうございました。

ami

# **み気に入りに出会う暮らし**

都内から移住して3年目となりますが、引っ越すまで守谷市について知らずに過ごしていました。都内への交通アクセスが良いこと。高い建物が少なく、空が広いこと。街中の広場では、お祭りやイベントが盛んなこと。新しい場所も昔ながらの場所も、お互いが応援し合っていること。各々のスタイルで、暮らしやお仕事をす



る方々がたくさんいること。守谷市には「自分なりのペースや暮らしの自由」があることを、もりやPR社の取材活動をとおして実感してきました。都内に勤務する私は、今では守谷に帰ってくるとホッとする気持ちになり、特に駅から見える夕焼けが気に入っています。

どこの街も、インターネットやSNSで情報は手に入るものの、実際の印象や好みは自分次第。だからこそ時間が許す限り、実際に訪れたり話を聞くことはお勧めです。お気に入りに出会う守谷市の暮らしを、これからも楽しんでいきたいと思います。

Mai

# これからもPR社を楽しみに

守谷の魅力を発信したい!と志を同じくして 集まったもりやPR社1期生ですが、投稿には 各メンバーの個性が出ていたように感じます。 取材先は、おしゃれなカフェ、地元で長く愛さ れているお店、守谷の自然、子ども向け施設な どバラエティに富んでいました。メンバーで 同じ取材先に行っても着眼点が違い、質問内容



はそれぞれ。1人では引き出せなかったお話し を聞くこともでき、とても貴重な経験でした。 私は娘を連れて取材することが多かったので すが、どの取材先でも娘がイキイキとしている 様子が感じられ、「子育て世代が暮らしやすい 守谷市 | を実感することができました。

2期以降のもりやPR社メンバーの皆さま も、1人ひとりの視点で守谷市の魅力を発見& 発信されていくことと思います。いちフォロ ワーとして、今後のもりやPR社の投稿を楽し みにしています!

# 深い想いに直接触れる

1年間、もりやPR社として市内のお店を取 材し、Instagramで発信する活動を続けてき ました。取材を通じて心に残ったのは、店主 の皆さんのこだわりや深い想いに直接触れら れたことです。一つ一つの言葉には、お店や 商品への誇りと愛情が込められており、聞く たびに胸が熱くなりました。



取材の際には、インタビューする皆さんが緊 張せず自然にお話しいただけるよう、和やかな 雰囲気づくりを意識しました。その想いをど う言葉にし、読んだ方に魅力が伝わる文章にす るか…。毎回悩みながら、時には仲間と意見を 交わし、文章を磨き上げました。

試行錯誤の連続でしたが、「丁寧な記事を書 いてくれてありがとう」と喜んでいただけた瞬 間の感動は何よりの励みとなりました。地域 の魅力を再発見し、人と人との温かいつながり を実感した、かけがえのない1年でした。

sachi

mina

### Mai's report

いが込められています。

種類豊富な手作りパンの盛り

ぜいたくに楽しみに、何度でも訪れたいお店です。 季節の食材を味わえる内容。ゆったりと流れる時間を ご夫婦が迎えてくれるベーカリーレストラン「スパ カリーレストラン

ゆったり過ごしたい

本館にある本棚もオススメの1つで、 い年月を経て丁寧に手入れされた温かみを感じます。 よる自作インテリアの数々が印象的で、テーブルも長 店内のオブジェ作品の他にも、オーナーの遠藤さんに 真アルバムも注目。ぜひご覧になってみてください。 と、「風の部屋」と呼ばれる別館があり、お庭の木々や 水曜日の週3日間のみ営業の人気店です。 イスガーデン」。守谷市でお店を続けて25年、月・火 気になる店名由来は、「日常にちょっと小粋なスパイ 開店時の工事写 お店は本館



スを効かせられるような温かい空間になれば」との思

合わせに始まり、メインを肉や魚から選べるコースは、









### スパイスガーデン

守谷市大木617-3

「電話 10297-47-0727 [営業時間]月~水曜日 11:30~15:00 ※予約が必要です。ご夫婦2人での営業につき、電話対応が難しい場合がある旨 photo:ami

# sachi's report

タグラムで発信されているので、 日会が開かれていて、温かな雰囲気に包まれていました。 と躊躇してしまいがちですが、イチトサンさんは「お子 たちが出迎えてくれます。 併せ持つ店内に足を踏み入れると、かわいらしいお菓子 から訪れるのがおすすめです! きで決行されることも多いとのこと。 発想だそうです。 イーツビュッフェ〟。店長さんご自身の「たくさん食べた スイーツ5品 (お持ち帰り可) という贅沢企画 ゙夏の5ス さま大歓迎」を公言。 着いたのは「イチトサン」。お菓子屋さんとカフェの顔を いけれど一度には食べきれない…」 という気持ちからの この日の私のお目当ては、カレー&ピザの食べ放題に 不定期開催の企画は店長さんの思いつ 取材の日も小さなお客様のお誕生 おしゃれなカフェは子連れだ 事前にチェックをして 最新情報はインス











### イチトサン

守谷市松ケ丘4-17-7 [営業時間]11:00~17:00

[定休日]日曜日

家族で楽しむ幸せのスイーツカフェ

おなかも心も満たしてくれるスイーツを求めてたどり



### sachi's report

さい。 くれました。おもちゃを「壊していくれました。おもちゃを「壊しているのだと気づかせてくれたことに感謝です。 お子さんと思いっきり遊びたいと お子さんと思いっきり遊びたいと けんことに感謝です。

られるようレールセットを手渡してれ、娘の手の届くところで組み立てれ、娘の手の届くところで組み立ては「いいんだよね?」と声をかけてくは「いいんだよ。何かやりたいことまった娘にも、プレイリーダーさん

# できる場所やりたい遊びが

プレイリーダーの皆さんが優しるそびの森もりっ子」。2023年12月にオープンした

みることができます。

ルの上の電車のレールを解体してし

娘と一緒に伺った際、突然テーブ

めて見るおもちゃもどんどん遊んで

く遊び方を提案してくれるので、初





### あそびの森 もりっ子

守谷市本町631番地の1 保健センター2階 ※ご利用にはホームページから予約が必要です。

### mina's report









### 渋谷トマト

守谷市松並1657-11 [営業時間]10:30〜無くなり次第終了 [定休日]火・水・土・日曜日 ※季節により営業時間が異なるため、Instagramをご確認ください。

# 度食べたら忘れられないトマト

ぶりです。 最適で、営業日には開店前から行列ができるほどの人気 な甘さと濃厚な旨み。安全・安心な味わいは贈り物にも 料で丁寧に育てられたトマトは、まるでフルーツのよう そして、笑顔が素敵で気さくな店主の渋谷さん。 地元・守谷で半世紀にわたり愛され続ける「渋谷トマ 減農薬にこだわり、納豆菌や乳酸菌などの有機肥

な人への贈り物にも、自分へのご褒美にもぴったりの 農家さんの新鮮な野菜が並びます。 には糖度の高いトウモロコシをはじめ、季節ごとに近隣 だけで心まで満たされる――そんな特別な場所です。夏 る直売所。 渋谷さん一家のあたたかな人柄が、そのままに表れてい 方々と楽しそうに言葉を交わす姿が、とても印象的です。 家族みんなで安心して味わえる、甘熟トマト、。 自然の恵みと人のぬくもりにあふれ、 、訪れる









2025年10月25日発行 発行所 〒302-0198 茨城県守谷市大柏950-1 守谷市役所市長公室秘書課 電話 0297-45-1111 (代表) HP https://www.city.moriya.ibaraki.jp/ この作品を許可なく転載等しないこと。 ©2025 MORIYACITY





Moriya magazine shared by Cilizen journalists



